大館市のバランスシート(平成16年3月31日現在)

借 方

資産運用の内容

1 .有形固定資産 保育所、北部 老人福祉総 (1)総務費 市庁舎、市民 合エリア等 文化会館等 2)民生費 (3)衛生費 墓園整備等 勤労者福祉

施設等 5 農林水産業費 農林道 (湯夢湯夢の 6)商工費 里等

道路、公園 (8)消防費 市営住宅等 9)教育費

2 投資等

小中学校、 (10)その他 樹海ドーム 周辺施設等

水道、病院事 業会計への 出資金等

教育施設 庁舎建設基金

特別導入貸付牛購入基 金

退職手当組合 積立金のうち 大館市の持分 相当額

市債の償還の ための積立金

翌年度への 繰り越し現金

ていく努力が必要です。

(資産の部) 将来に引き継ぐ財産

736億2千万円(構成比) 26億4千万円(3%) 67億5千万円 (9%) 5億9千万円(1%) 4 労働費 5億2千万円(1%) 66億6千万円 (9%) 24億7千万円(3%) 7)土木費 317億円 (43%)

防火水槽 3億5千万円(1%) 216億4千万円 (29%) (1%) 3億円

(有形固定資産のうち土地)(165億9千万円)

42億9千万円 1)投資及び出資金 19億4千万円 5億2千万円

2 貸付金 地域総合整 備資金等 3 基金 16億6千万円 9億5千万円 1 特定目的基金 (2) 土地開発基金 7億円

3 定額運用基金 (4) 退職手当組合積立金

3 流動資産 (1) 現金・預金 財政調整基金 減債基金

歳計現金 (2)未収金

地方税 その他

資産合計

797億9千万円

1千万円

1億7千万円

18億8千万円

13億8千万円

4億1千万円

4億8千万円

4億9千万円

4億2千万円

8千万円

として、

の「教育費」が29%となっています。

他

合が43%と最も多く、

市営住宅、

公園などの「土木費」の割

次いで学校建設など

資産の部の有形固定資産を見てみると道

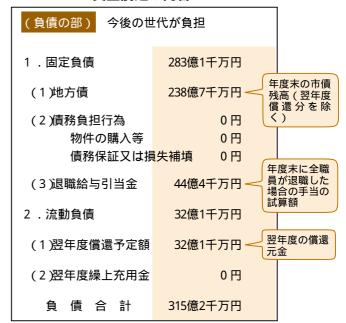
分かること

団体も市民の日常生活に関わる施設の整備

5億円

方

資金調達の内容



(正味資産の部)

これまでの世代が負担

114億円

1.国庫支出金

2. 都道府県支出金

3.一般財源等

正味資産合計

有形固定資産 を取得するた めに使った国 や県からのお

49億5千万円

319億2千万円

資産を取得す るために使った市税など

482億7千万円

負債·正味資産合計 797億9千万円

くは保育費や生活保護費などの行政コスト

資産の形成に結びつかな

いということではありません。

民生費の多

この割合が低いから行政サービスが少な

この割合は上位を占めています。

いからです。 として支出され、

億2千万円で割ると、

ると、これまで以上に将来への負担を抑え ばならない割合が分かります。 来負担が4割以上となっていることが分か より、今後の世代によって負担されなけれ 15億2千万円を有形固定資産残高736 有形固定資産と負債の割合を見ることに 今後の少子高齢化の進行を考慮す 42 ・8%となり、 負債合計3 将

対比して、 計・都市計画事業特別会計・急患センタ・計・土地取得特別会計・奨学資金特別・ 今後の負担の状況を知ることができます。 状況を示したものです。 の建設や運用のために必要となった資金を は 成しました。バランスシート (貸借対照表) では分からなかった将来に引き継ぐ財産や ンスシート」(平成16年3月31日現在) 特別会計) 決算に基づいて「 これにより、従来の「歳入歳出決算書」 学校、福祉施設、道路などの資産とそ 都市計画事業特別会計・急患センター ランスシー では平成15年度の普通会 年度末における市全体の財産の トから 大館市のバラ 計 を作 般 会